

平成 27 年 度

小学校教員資格認定試験

教職に関する科目 (Ⅱ)

図画工作

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 27 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、すべて解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 50 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊗ ⊗ ⊕ ⊙

以下の設問において『小学校学習指導要領』とは、『小学校学習指導要領』(平成20年文部科学省告示第27号)第2章 第7節 図画工作を指し、『小学校学習指導要領解説 図画工作編』とは、『文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』(平成20年8月)』を指すものとする。

問1 次の文は、『小学校学習指導要領』における〔第3学年及び第4学年〕の「1 目標」の記述の一部を示したものである。空欄の ① から ③ に入る適切な語を〔語群〕から選択し、その組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

(2) 材料などから ① , 手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。
(3) ② 作品などから、よさや ③ を感じ取るようにする。

〔語群〕 A 豊かな発想をし B 想像力を膨らませ C 構想を組み立て
D 親しみのある E 身近にある F 身の回りの
G 楽しさ H 美しさ I 面白さ

ア ① A ② E ③ I
イ ① A ② F ③ H
ウ ① B ② F ③ G
エ ① C ② D ③ H

問2 『小学校学習指導要領』における〔第1学年及び第2学年〕の「2 内容 A表現 (1)」の「材料を基に造形遊びをする活動」に示された内容として誤っているものを、次のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 並べたり、つないだり、積んだりするなど体全体を働かせてつくること。
イ 身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくること。
ウ 好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながらつくること。
エ 感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくること。

問 3 『小学校学習指導要領』における「2 内容 A表現 (2)」の「絵や立体, 工作に表す活動」に示された内容として誤っているものを, 次のアからエの中から一つ選んで, 記号で答えなさい。

ア 身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに, 表し方を考えて表すこと。

イ 見たこと, 聞いたこと, 知ったことから, 表したいことを見付けて表すこと。

ウ 表したいことや用途などを考えながら, 形や色, 材料などを生かし, 計画を立てるなどして表すこと。

エ 表したいことに合わせて, 材料や用具の特徴を生かして使うとともに, 表し方を考えて表すこと。

問 4 次の文は, 『小学校学習指導要領』における〔第5学年及び第6学年〕の「2 内容」〔共通事項〕に示された内容である。空欄の ① から ③ に入る適切な語を〔語群〕から選択し, その組合せとして正しいものを, 下のアからエの中から一つ選んで, 記号で答えなさい。

ア 自分の ① や活動を通して, 形や色, 動きや ② などの造形的な特徴をとらえること。

イ 形や色などの造形的な特徴を基に, 自分の ③ をもつこと。

[語群] A 感性 B 感覚 C 時間
D 構成 E 奥行き F 価値観
G イメージ H 印象

ア ① A ② C ③ F

イ ① A ② D ③ F

ウ ① B ② E ③ G

エ ① B ② G ③ H

問 5 『小学校学習指導要領解説 図画工作編』の「第 2 章 図画工作科の目標及び内容 第 1 節 図画工作科の目標 1 教科の目標」に示された内容として誤っているものを、次のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 感性とは、美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心をいい、情緒などに比べて更に複雑な感情を指すものとされている。

イ 「造形的な創造活動」とは、自分の思いを形や色などで表したり、よさや美しさを感じ取ったりするなどの活動のことである。

ウ 図画工作科の学習は、児童が感じたことや想像したことなどを造形的に表す表現と、作品などからそのよさや美しさなどを感じ取り見方を深める鑑賞の二つの活動によって行われる。

エ 「感性」は、様々な対象や事象を心に感じ取る働きであるとともに、知性と一体化して創造性をはぐくむ重要なものである。

問 6 次の文は、『小学校学習指導要領』における「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」の記述の一部を示したものである。空欄の ① から ④ に入る適切な語を〔語群〕から選択し、その組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

低学年においては、① などの関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにすること。特に第 1 学年においては、幼稚園教育における② に関する内容などとの関連を考慮すること。

各学年の「A 表現」の(2)については、児童や学校の実態に応じて、児童が工夫して楽しめる程度の③ や④ ができるようにすること。

- | | | | |
|------|----------|----------|----------------|
| [語群] | A 音楽科 | B 生活科 | C 美術館 |
| | D 博物館 | E 絵画製作 | F 表現 |
| | G 造形 | H 造形遊び | I 漫画に表す経験 |
| | J 版に表す経験 | K 焼成する経験 | L コンピュータを用いた経験 |

- ア ① A ② E ③ I ④ L
 イ ① B ② F ③ J ④ K
 ウ ① C ② G ③ L ④ I
 エ ① D ② H ③ K ④ J

問 7 『小学校学習指導要領』における「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」に例示されていない材料や用具が含まれているものを、次のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 紙, クレヨン, 針金, 小刀
- イ 木切れ, カッターナイフ, 彫刻刀, 釘^{くぎ}
- ウ 土, はさみ, 水彩絵の具, 糸のこぎり
- エ パス, 粘土, のり, 金づち

問 8 『小学校学習指導要領解説 図画工作編』に示された内容として誤っているものを、次のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 「B鑑賞」の各学年の内容に「話したり, 聞いたりする」, 「話し合ったりする」などの学習内容を位置付け, 言語活動を充実する。
- イ 表現及び鑑賞の各活動において, 共通に必要な資質や能力を〔共通事項〕として示す。
- ウ 鑑賞については, 児童や学校の実態にかかわらず, 美術館などを利用したり, 連携を図ったりしなければならない。
- エ 表現と鑑賞はそれぞれに独立して働くものではなく, お互いに働きかけたり, 働きかけられたりしながら, 一体的に補い合って高まっていく活動である。

問 9 『小学校学習指導要領解説 図画工作編』の「第 2 章 図画工作科の目標及び内容 第 1 節 図画工作科の目標 2 学年の目標」に示された図画工作科で育成する資質や能力として正しい〔語群〕の組合せを、下のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- [語群] A 造形への関心や意欲, 態度 B 美術への関心や意欲, 態度
C 発想や構想の能力 D 構成の能力 E 表現の技術
F 創造的な技能 G 鑑賞の能力 H 批評する能力

- ア B・C・F・H
- イ A・D・E・G
- ウ B・D・E・H
- エ A・C・F・G

問10 次の文は、『小学校学習指導要領』における「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の記述の一部を示したものである。空欄の ① から ③ に入る適切な語を〔語群〕から選択し、その組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(2) 第2の各学年の内容の「A表現」の(2)の指導に相当する授業時数については、
 ① の内容に相当する授業時数が、② の内容に相当する授業時数とおよそ等しくなるように計画すること。

(3) 第2の各学年の内容の「B鑑賞」の指導については、③ との関連を図るようにすること。ただし、指導の効果を高めるため必要がある場合には、児童や学校の実態に応じて、独立して行うようにすること。

- 〔語群〕 A 〔共通事項〕 B 絵や立体に表すこと C 美術館
 D 「A表現」 E 「A表現」(1) F 「B鑑賞」
 G 工作に表すこと H 材料を基に造形遊びをする活動

- ア ① G ② H ③ E
 イ ① B ② H ③ A
 ウ ① G ② B ③ D
 エ ① E ② F ③ C

問11 次の①から④の表現技法を意味する語を〔語群〕から選択し、その組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ① フロッタージュ ② マーブリング ③ ドリッピング ④ スパッタリング

- 〔語群〕 A 霧吹き B 吹き流し(たらし) C 墨流し D こすり出し

- ア ① A ② B ③ D ④ C
 イ ① D ② C ③ B ④ A
 ウ ① A ② C ③ D ④ B
 エ ① D ② B ③ A ④ C

問12 次の文中の空欄 ① から ④ に入る適切な語を[語群]から選択し、その語の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

シナの合板やカツラの板に彫刻刀で彫って刷る木版画は、 ① と同じ ② の一種である。木版画には単色木版画や、複数の色を使って刷る多色木版画がある。葛飾北斎の富嶽三十六景や歌川広重の東海道五十三次のような浮世絵は ③ と呼ばれる。③ では複数回に分けて色を刷らなければならないので、紙がずれないようにするために、あらかじめ目印となる ④ をつくるなどの工夫が必要となる。

- [語群] A 銅版画 B 紙版画 C 凸版
 D 凹版 E 平版 F 一版多色木版画
 G 多版多色木版画 H 目当 I 見当

- ア ① A ② C ③ F ④ I
 イ ① B ② C ③ G ④ I
 ウ ① B ② E ③ F ④ H
 エ ① A ② D ③ G ④ H

問13 材料として用いる様々な粘土の特徴について述べたものとして誤っているものを、次のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 油粘土は、土と油を混ぜ合わせたものなので乾燥しにくく、専用のケースなどに入れるなどして適切に保管すれば繰り返し使用することができる。
- イ 土粘土は、天然の土を水で練ったものであり、産地によって色や質感が異なる。乾燥して固まると割れやすくなるが、焼成することができる。
- ウ パルプとにがりを主原料とする紙粘土は、乾燥して固まると水彩絵の具などで着色することができる。
- エ 小麦粉粘土は、小麦粉などからできているので、幼児の造形活動ではよく用いられる材料である。

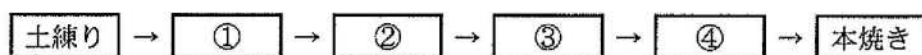
問14 19世紀から20世紀にかけて活躍した彫刻家オーギュスト・ロダンについて述べたものとして誤っているものを、次のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア イタリア旅行でミケランジェロの彫刻に接した。
- イ 《地獄の門》は未完に終わった。
- ウ 文芸家協会が注文した《モリエール像》は革新的であった。
- エ 《カレーの市民》は百年戦争中の出来事を表している。

問15 次のアからエの文のうち、誤っているものを、一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 色の三属性(三要素)は、色相、明度、彩度である。
- イ 白色や黒色や灰色を無彩色という。
- ウ 混ぜ合わせることで黒に近づく混色を加法混色という。
- エ 赤い光と緑の光を重ねると黄色の光になる。

問16 次の図は一般的な作陶の工程を表している。空欄 ① から ④ に入る適切な語を [語群] から選択し、その組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。



[語群] A 乾 燥 B 成 形 C 施 釉 D 素 焼 き

- ア ① C ② B ③ D ④ A
- イ ① C ② A ③ B ④ D
- ウ ① B ② A ③ C ④ D
- エ ① B ② A ③ D ④ C

問17 次の文中の空欄 ① から ④ に入る適切な語を[語群]から選択し、その組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

木には繊維があり、一定の方向に走っている。そのため、両刃のこぎりはそれぞれ刃を使い分ける。 ① は、繊維に平行に ② で掻き取るように、また、 ③ は、 ④ のように繊維を切断し、挽き切る。

[語群] A 縦挽き刃 B 横挽き刃 C のみ D 小刀

- ア ① B ② C ③ A ④ D
 イ ① A ② C ③ B ④ D
 ウ ① B ② D ③ A ④ C
 エ ① A ② D ③ B ④ C

問18 次のアからエの文のうち、誤っているものを、一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 針金は、番号が小さいほど太い。
 イ 紙やすりは、番号が小さいほど粗い。
 ウ 「どべ」とは、粘土を水でどろどろに溶いたもので、土と土とを接合させる接着剤として使用する。
 エ 電動糸のこぎりに取り付ける刃は、上を先に固定する。

問19 17世紀に活躍した画家レンブラント・ファン・レインについて述べたものとして誤っているものを、次のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア イタリアを中心に活動した。
 イ エッチングによる作品も多く手がけた。
 ウ 多くの自画像をのこした。
 エ 《夜警》は、集団肖像画として注文された。

問20 次の文中の空欄 ① から ④ に入る適切な語を[語群]から選択し、その組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

足利 ① は北山山荘に二階建ての ② を設け、 ③ と総称される舶来品で飾った。 ② の座敷飾りや美術品の鑑定を受け持つ同朋衆として、能阿弥らが活躍した。また、 ② で催された猿楽は、観阿弥、世阿弥によって ④ に発展した。

[語群] A 尊 氏 B 義 満 C 義 政
 D 塔 頭 E 寝 殿 F 会 所
 G 唐 物 H 和 物 I 御 物
 J 連 歌 K 歌舞伎 L 能

ア ① A ② D ③ G ④ L
 イ ① B ② F ③ G ④ L
 ウ ① C ② E ③ H ④ J
 エ ① A ② D ③ I ④ K